

「夢が原動力」

◆はじめに

みなさんの可能性は無限大です。そして今、人生という道の「1つの分岐点」に立っています。その分岐はいくつにも分かれており、様々な選択が可能です。

では、どの道を選んで進んでいくのか。誰が選ぶのか。どうやって選ぶのか。どうやったらその道を歩んでいけるのか。考える時期が“今この瞬間”です。

まず、みなさんが自分の意志で進む道を選ぶことです。自分の人生です。自分が生きる道です。人の意見は聞いたり、情報を調べたりするけれども、最終決断は自分自身で下すものです。そこに自分の人生に責任をもって生きるという決意が生まれます。

つぎに、“夢の実現”を見据えて選ぶことです。これから進む道の先に、自分の夢の実現や希望などがなければ、その道がただただ辛く険しいものとなるでしょう。だからこそ、自分が抱く夢や希望につながる道を選び、心の支えや頑張れる源がある道を選んでほしいと思います。

さらに、夢を叶えるための道を選んでいくには、力が必要となってきます。時として人間力、学力、体力、リーダーシップ、課題発見解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力（チームワーク）、表現力、人の気持ちを考える力（想像力）、創造力、情報収集力、PC活用能力など、様々な力が必要になるでしょう。社会はこれらの力をもつ人材を求めています。では、これらの力はどこで身に付けるのでしょうか。学力に限っては、学習塾という選択もありますが、多くは、日々の生活（大半が学校生活）で身に付けていく力になります。自分の夢を勝ち取るためにも、選んだ道を歩む力をつけてほしいと思っています。

そして、その先に、みなさんの夢の実現が待っていることになります。

そうとは言っても、中学校3年生という義務教育終了の年を迎え、希望と不安が入り混じる気持ちを抱えていることでしょう。この先どんな未来が待っているのか。どう進んでいったらよいのか。今何をしておけばよいのか。そんなときに思い浮かべてほしいのは、学校教育目標に掲げている「自律」です。おおぐろの森中学校の先生方は、社会に通用する、人として心のある自律した生徒の育成を目指しています。学力を伸ばすためだけにいるのではありません。

今までは、子どもとして家族や大人たちから手厚く守られてきましたが、数年後には（早い人は来年から）大人としてみられることになります。責任ある大人として、社会のために活動し、自力で生き甲斐を見出し、職場や周りの人々からの十分な信頼を継続的に得る、生きる力をしっかり身につけてほしいと思います。

最後に、これからの未来を生きていく皆さんに伝えたいことがあります。それは、〇〇をやってみよう、〇〇してみよう、どうして〇〇なんだろう、などの興味関心を大事にすることです。とある有名な漫画では、「頑張れ!! 人は心が原動力だから 心はどこまでも強くなれる!!」と主人公が熱く伝えていきます。原動力がなければ、人は動けません。その原動力は、人の心が抱く“夢”だと強く思います。

中学校3年生という通過点をどのように捉えるか。また、これから先の数多くの通過点をどのように捉えるか。そして、自分の人生をどう生きるか。考える時間を大事にしてください。あなたは脚本家であり、主人公です。幸せな人生を送っていくために、自分が主人公のドラマを描いて演じていってもらいたいと思っています。